

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-516877 (P2005-516877A)

【公表日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報 2005-022

【出願番号】特願 2003-510408 (P2003-510408)

【国際特許分類】

C 0 4 B 38/00 (2006.01)

B 0 1 D 39/14 (2006.01)

B 0 1 D 39/20 (2006.01)

B 0 1 J 21/16 (2006.01)

B 0 1 J 27/224 (2006.01)

B 0 1 J 35/04 (2006.01)

C 0 1 B 33/12 (2006.01)

F 0 1 N 3/02 (2006.01)

F 0 1 N 3/28 (2006.01)

B 0 1 D 53/86 (2006.01)

【F I】

C 0 4 B 38/00 3 0 4 A

B 0 1 D 39/14 B

B 0 1 D 39/20 D

B 0 1 J 21/16 A

B 0 1 J 27/224 A

B 0 1 J 35/04 C

B 0 1 J 35/04 3 0 1 P

C 0 1 B 33/12 B

F 0 1 N 3/02 3 0 1 B

F 0 1 N 3/28 3 0 1 P

B 0 1 D 53/36 Z A B C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 29 日 (2005.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

燃焼装置の排気系で使用するのに好適な剛性化されたセラミック繊維ベースの紙サブストレートであって、

耐火性セラミック繊維を含むセラミック繊維ベースの紙と、

該耐火性セラミック繊維に結合され、かつそれを互いに結合させるように配設されたセラミック粒子の集塊と、ここで、該セラミック粒子の集塊は、モンモリロナイトクレーの熱分解粒子から形成された化学的安定化 - クリストパライトを含む、を含む、紙サブストレート。

【請求項 2】

モンモリロナイトクレーを化学的安定化 - クリストパライトに変換するために十分な

温度におよび時間で該モンモリロナイトクレーを加熱することを含む、化学的安定化 - クリストバライトの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

剛性化紙サブストレートは、ウォールフロー型サブストレートまたはフロースルー型サブストレートでありうる。剛性化紙および剛性化紙サブストレートは、70%を超える多孔度、さらには約80%～95%の範囲の多孔度を呈しうる。剛性化された紙または紙サブストレートは、好ましくは、約80%から約95%までの範囲の多孔度を呈し、かつポロシメトリー (porosity) により測定したとき約10から約15マイクロメートルまでの範囲の平均流量細孔直径を有する。剛性化された紙または紙サブストレートは、5重量%未満、より望ましくは2重量%未満、さらに望ましくは1重量%未満の低いガラス含有率 (典型的にはガラス粒子) を有することが望ましいであろう。剛性化紙サブストレートは、2重量%未満、より望ましくは0.5重量%未満の低いアルカリ金属含有率を有することが望ましいこともある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0135

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0135】

10gのゾルLおよび85gの分散体Iを迅速攪拌しながら混合し、約3分間ソニケートすることにより、ゾルMを調製した。次に、5.0gのUF5SiC粉末を迅速攪拌しながら添加し、さらに3分間ソニケートすることにより、ゾルMを形成した。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0160

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0160】

効率およびすす保持方法に従って、完成セラミック繊維フィルターを試験した。その結果、20kPaの圧力低下では、効率は99.4%であり、すす保持量は11.0グラムであることがわかった。40kPaの低下圧力では、効率は96.1%であり、すす保持量は34.0gだった。